

新潟産業大学報

青海波



第 14 号

発行日：平成16年5月31日

発行：新潟産業大学

編集：新潟産業大学メディア情報処理委員会

新潟県柏崎市軽井川4730番地
TEL 0257-24-6655 FAX 0257-22-1300

わが国の抱える大きな問題の一つに、急速に進行する少子高齢化の現象があります。地球規模での人口の急増によって食糧問題や環境破壊が生じ、人類生存の危機が囁かれていることを考えれば、これは必ずしも否定されるべき傾向ではないかもしれませぬ。しかし発展途上国において人口が爆発的な増加をみせている一方で、先進国において社会構造の崩壊を危惧させるほどの急激な少子化は、決して好ましいものではありません。また健康で長寿を誇る社会の実現は人類の長年の願望でありますが、それを受け入れ、成立させようような社会の円熟を伴わなければ、大きな問題を引き起こすことにもなりかねません。高齢者福祉、年金、医療制度など、今日わが国の抱える問題の多くが、この点



地方の子弟こそ 広い勉学を

学長 内田安三

に起因していることは明らかであります。豊かな社会を実現するためには、広い視野、長期的な展望、均衡ある施策を欠いては、たいへん困難なことであると実感せざるをえません。

しかし社会状況の変化を目の当たりにしながら、地方都市に在住して不安に感じることが、われわれが子供たちの問題に対して適切に対応しているのかということであります。特に農業を典型とする小規模で、土地資産に依存する産業や、小規模製造業、商店といった自営事業体が主である地方都市の生活者にとって、生活環境を考慮に入れながら、次世代との理想的な関係を構築して

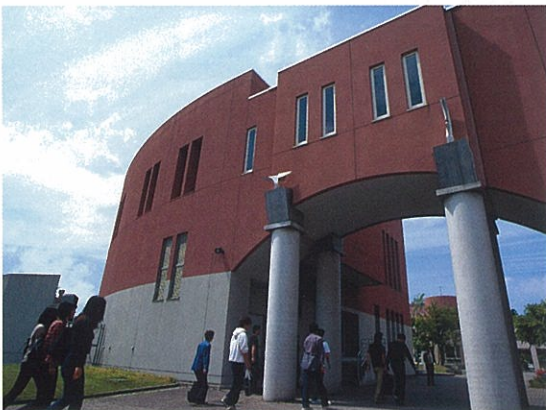


いくことは、考えるほどに難しいことでもあります。自己資産を保全し、継承していくためには、子供を同じ生活圏内に留めることが望ま

しく、高齢者を抱えている場合にはなおさらで、世話の分担を含めて、少なくとも自宅から通勤可能な地元での就職を子供に希望するの無理からぬことと思われます。少子化の状況の下では、家族のそのような要請を受ける子供の比率はますます増大していきます。

しかるに、わが国の食料の大半を海外に依存し、また生活用品の大半が中国を始めとする新興産業国に製造の拠点を移している現状で、地方の産業構造が今のままで次世代に継承されてよいはずがありません。子供たちに広い視野を持った判断力や職能を持たせ、人的交流を広げて、将来自らがその技術を展開し、

開拓しうる能力を与えていかなければなりません。これはかつてわが国で次男や三男が家を離れ、自立していった時と同じです。子供たちもこのことをよく理解して、家族の期待を含めて、何をも身につけるかを考え、勉学に励まなければなりません。また家族も子供に家業を継がせるつもりならば、より専門的な知識を得られるような大学教育を受けさせる気持ちを持つていただきたい。他方、老人たちは互助しながらも、次世代への負担を少しでも軽減させる精神と努力を、もうひと踏ん張りすることが必要であろうと自戒しているところです。

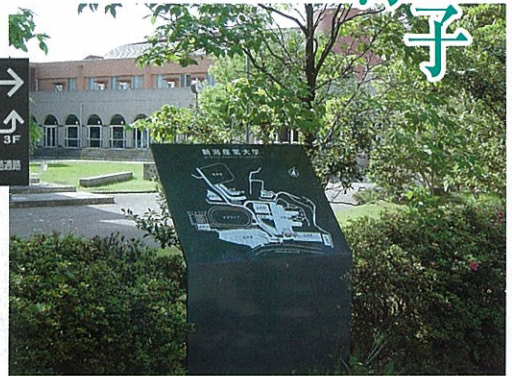


平成16年度新設 大学院の様子

昨年末に文部科学省から設置認可を受け、この4月より新潟県の私立大学では初となる社会科学系の大学院がスタートしました。入学式や新入生へのガイダンスも無事に終了し、現在、授業と研究指導が順調に滑り出したところですよ。

大学院開設に伴って、大学組織の一部が改変され、設置審の厳しい資格審査をクリアした専任教員で構成される大学院研究科委員会が中心となって、大学院生の教育と研究指導を担当することになりました。また大学院に関する教務事務を処理するために、教務課に大学院係を新たに設けました。

履修に関しては、専門性の深化が求められることから、履修単位については一年間の上限を28単位にするとともに、入学当初から担当指導教員を決め、その指導のもとに、自己の研究計画を十分に踏まえた体系的かつ効果的な履修ができるような体制で臨んでいます。



産業学科の様子

平成16年度新設

本年4月に発足した産業学科は、地域社会の生活に密接に関連した①介護福祉、②環境安全、③健康・食糧、④地域情報の各分野の産業技術を身に付けるとともに、経済・経営に関する知識を学ぶ、他に類を見ない理工系総合学科です。意欲あふれる新入生を迎えて、授業がスタートしたところです。

昨夏に完成した研究・実験棟では、秋学期から週2コマの学生実験が始まるため、まずは学生実験室から設備装置の充実を図っています。研究面では、環境安全に関する研究が文部科学省の科学研究費(基盤C)に採用され、他の分野でもセコム財団や総合工学振興会などからの助成を受けています。研究実験の機器類の充実を図りつつ、それぞれの研究活動が本格的に始まりました。

新規構想による学科であるために、研究指導、社会への情報発信、学生募集などの課題を前にして、専門系の教員全員で作戦を練っているところです。

今後の抱負

大学院経済学研究科1年
小黒 智成

経済学部産業学科1年
小白山 裕美
(新潟県立新発田商業高校出身)

新潟産業大学経済学部を卒業後、社会人として生活していましたが、母校に大学院ができて聞き、今一度自分を鍛え直したいと考えて進学を決めました。これまでに自分が培ってきた経験を生かしながら、さらに高度な専門知識を習得し、より充実した人生を過ごそうと思ったからです。

家族の者が手術後のリハビリをしている姿を見て、私も理学療法を学びたいと思っていました。高校の先生から新潟産業大学の産業学科を薦められ、専門分野だけでなく経済や経営の勉強もできることを知り、入学を決めました。

今年は、「生活物理」、「医学概論」、「初級ミクロ経済学」などの基礎的な科目を履修しています。2年時以降は、「福祉・医療産業」や「リハビリテーション概論」などが学べる介護福祉産業コースに進みたいと考えています。

まだ、授業も始まったばかりですが、企業の最前線における経営戦略や、ビジネスモデルデザインなどの模索など、あたかも実際に企業を経営していると錯覚するような、興味深い内容ばかりです。

将来に向けて発展するであろう、環境ビジネスの世界で羽ばたくことを夢見て、指導教授のアドバイスを受けながら、マネジメントの世界に没頭する毎日です。

親元を離れてのアパート生活は、最初は少しさびしく感じましたが、今ではたくさんの方と暮らして、車まで通学できることもうれいですね。新しい発見の連続にワクワクする、充実した毎日を送っています。



これまで留学生の教学関係や生活上の指導・相談などについては、教務課や学生課といった複数の部署で対応してまいりました。しかし、これらの問題や悩みはどれも密接に関係しており、個々の学生の状況を総合的に把握した上で、的確な助言や指導を行う必要があります。このた

め、従来は分散していた窓口を国際センターに集約し、情報の一元化を図ることで、迅速かつきめ細かな指導を行い、留学生を積極的に支援することができ体制を確立いたしました。また国際センターでは、海外協定校との発展的な人的交流（教職員および日本人学生）を促進し、さらなる国際化へ向けての計画を作成する核となることで、世界へ開かれた新潟産業大学を実現してまいります。



人文学部の 学科名称変更

「環日本海」という視点が注目されるなか、平成6年、人文学部環日本海文化学科が設立され、以来、語学と異文化理解に力点をおいた教育を進めてまいりました。

平成13年からは、グローバル化



の進行を背景に、欧米語文化圏も加えた「国際言語文化コース」と、社会学を柱とする「地域社会文化コース」の2コース制がスタートしました。この間、843名の卒業生を国内外に輩出して高い評価を得てきました。このような経緯を踏まえ、学科名を設立以来の授与学士名でもある「地域文化学科」に変更することとなりました。

平成16年4月7日(水) 柏崎市市民会館大ホールにおいて、第17回入学式が挙行されました。これからの大学生活に思いを馳せる新入生や少々不安げに見守る保護者

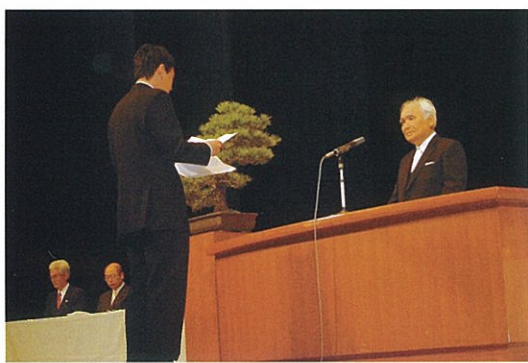
など、毎年恒例の風景が見られました。今年度から新設された経済学部産業学科や大学院経済学研究科にもハッラツとした顔が揃いました。写真は新入生を代表して「誓いのことば」を述べる、産業学科の高橋真士君。



平成16年3月24日(水) 柏崎市市民会館大ホールにおいて、第13回卒業式が挙行されました。

今年度の学長賞は、経済学部の長谷川朗君と人文学部の

呉秀媛さんに贈られました。スポーツ功労賞には、卓球部で北信越大会シングルス優勝経験のある経済学部の村越雄介君が、国際交流功労賞には、モンゴル民族文化の紹介を通じて地域社会との国際交流に貢献した人文学部の薩日娜(さらな)さん選ばれました。





本学経済学部を卒業した篠田英実君（新潟大学大学院経済学研究科経営学専攻2年）が経済学部小峯助教が担当する「ミクロ経済学演習」と「マクロ経済学演習」でTA（ティーチング・アシスタント）を務めています。「自由な雰囲気になれる。目標を持って進むべき道が見える」と学生にエールを送っています。小峯先生は、在学中のゼミナール担当教員でした。「学生時代より大人として扱ってくれるかな」と本人の弁でした。



平成16年4月16日（金）～17日（土）に「グリーンピア津南」を会場として、新入生対象のオリエンテーションを兼ねた学外合宿が行われました。

これからの学生生活をよりいっそう充実したものにするため、クラスミーティングやソフトバレーボールなどの行事を通じて学生同士、また教職員との親睦を深めることが主目的です。新入生からは、「友達ができ、参加して良かった」「教職員と仲良くなれた」「公認部にさっそく入部した」など多くの声が寄せられ、大好評でした。



シドニーのユニバーサルイングリッシュカレッジで学んだ3週間は、あっという間に過ぎ去った夢のような出来事でした。今思い返してみると、この体験は私の人生の大切な財産のひとつになった気がします。

短期間の留学ではありましたが、異国で生活することによって、日本の良い面と悪い面がはっきりと分かり、また自分を見つめ直す良い機会になったと思います。

●今年度の短期留学

国・地域	受 入 機 関	募集人員
ロシア・ハバロフスク	ハバロフスク国立経済法律アカデミー	6名
中国・黒龍江省	哈爾濱師範大学	4名
	黒龍江大学	4名
韓国・慶山市	慶一大学校	3名
オーストラリア・シドニー	ユニバーサルイングリッシュカレッジ	制限なし



(後列左側が高橋愛美さん)

公・開・講・座

	テ ー マ	担 当 者
教養講座	ヌーヴェル・ヴァーグのパリ	人文学部 梅比良真史教授
	楽しい王朝文学講座	人文学部 川村裕子教授
	奈良美術への誘いⅢ	人文学部 片岡直樹助教授
資格取得講座	実用中国語会話講座	人文学部 倉 秀娟教授

※教養講座は「かしわざき市民大学」と共催。



運動部名	大会名	部門・種目および大会参加者名(学年)	成績
空手道部	第48回北信越大学空手道選手権大会	団体組手	出場
	第47回全日本学生空手道選手権大会	個人組手	出場
	第39回東日本大学空手道選手権大会	団体組手	出場
	第29回北信越学生空手道選手権大会	個人組手	橋本裕輔(経4) ベスト8
基礎スキー部	全国学生岩岳スキー大会		出場
	北信越学生基礎スキー選手権大会		出場
弓道部	観桜射会	女子個人	中川茜(人2) 1位
	見附大会	女子個人	江川あいこ(人1) 2位
	市民武道大会	近的	高野梓(人4) 1位
		遠的	十住真裕(経3) 1位
	上越地区選手権	近的	十住真裕 3位
			永井武史(経3) 2位
親善射会		高野梓 3位	
剣道部	第5回新潟県剣道形大会	一般三段以下個人戦	山本隆吉(経4)、佐藤桂太(経2) 3位
	第3回全日本学生剣道オープン大会		出場
硬式野球部	関甲新学生野球3部リーグ		0勝10敗
サッカー部	第15回新潟県大学高専サッカーリーグ大会		4位
少林寺拳法部	新潟県大学生大会		出場
水泳部	第7回東日本水球リーグ戦	2部	5位
	秋季関東学生リーグ戦	3部	2位
水球部門	第79回日本学生選手権大会【水球競技】	横内聡(経3)、瀧下弘幸(経3)、中川仁(経3)、藤内清(経3)、宮川謙史(経2)、江良貴義(人2)、苗田翔(経2)、水科達也(経1)	ベスト8
水泳部	第17回関東学生夏季公認記録会	男子200m自由形 遠藤雅(人1)	標準記録突破 インカレ出場
卓球部	第51回春季北信越学生卓球選手権大会	団体戦	準優勝
		シングルス	張環宇(人1) 3位
		ダブルス	北村理(経1)、張環宇 優勝
		ダブルス	北村理、張環宇 3位
	中部日本卓球選手権大会	シングルス	張環宇 3位
		団体戦	出場
	第73回全日本大学対抗卓球青森大会	一般の部、シングルス	出場
	北信越選手権卓球大会		出場
	第51回夏季北信越学生卓球選手権大会	団体戦	岡田利臣(経4)、大島雄太(経3)、佐々木拓(経1)、山本拓矢(経1) 3位
		シングルス	張環宇 3位
ダブルス		北村理、張環宇 優勝	
ダブルス		北村理、張環宇、佐々木拓 出場	
第70回全日本学生卓球選手権大会	シングルス、ダブルス	北村理、張環宇、佐々木拓 出場	
第51回秋季北信越学生卓球選手権大会	団体戦	解良純(経3)、福葉健介(経3)、北村理、佐々木拓、山本拓矢、張環宇 3位	
	シングルス	張環宇 優勝	
	ダブルス	北村理、張環宇 優勝	
軟式野球部	新潟県軟式野球連盟春季大会		2勝3敗2分
	新潟県軟式野球連盟秋季大会		2勝6敗
バスケットボール部	第35回甲信越大学バスケットボール定期大会		出場
	第37回北信越学生バスケットボール選手権大会		出場
	第8回藤田修一争奪新潟県学生バスケットボール選手権大会		出場
バレーボール部	平成15年度春季北信越大会	2部リーグ	6位
	平成15年度秋季北信越大会		5位
モンゴル相撲部	平成15年度秋季北信越大会	3部リーグ	優勝(2部昇格)
日本モンゴル相撲交流10周年記念大会			出場
			出場
ライフセービング部	第16回全日本ライフセービング室内選手権大会	ライフセービングボール投げ 桑原聖(経3)、須田好美(経3)、小出まゆ子(人3)、池田士(経2)	4位
	第18回全日本学生ライフセービング選手権大会	ビーチスプリントリレー 桑原聖、矢田孝幸(人3)、塚越康平(経1)、堤優樹(経1)	6位
陸上競技部	第77回北信越学生陸上競技対抗選手権大会		出場
	第57回新潟県陸上競技選手権大会		出場
	第23回北信越学生10マイルロードレース大会		出場
第34回北信越学生陸上競技選手権大会			出場

平成15年度 公認部主要大会 成績一覧表



「就職に強い
新潟産業大学」
更に強力な
バックアップ

「キャリアデザイン」
今年度から「目的意識を持った人生設計の作成」や「社会のメカニズムを知る」などを目的としてスタートしました。多数の学内外の専門スタッフが講師を務め、自分を見つめ直すことにより、ライフプランを考えていく授業です。ビジネスマナーの講義ではスーツ着用が義務付けられるなど、より実践的な内容で進められます。

「インターンシップ」
自分の専攻や将来のキャリアに関連した企業などで夏季休業中に2週間程度の就業体験を行います。実習先には、官公庁をはじめとして金融、製造、サービスなどの民間企業を予定し、数十社から協力をいただいています。

平成15年度の就職状況 高水準の就職率を維持!!

平成16年3月末日現在

	経済学部			人文学部			両学部合計			
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	合計	
平成15年度	就職率(%)	93.2%	100.0%	93.9%	100.0%	85.7%	94.9%	94.2%	93.5%	94.1%
	就職者数	138	17	155	25	12	37	163	29	192
	就職希望率(%)	72.2%	81.0%	73.0%	73.5%	87.5%	78.0%	72.4%	83.8%	73.9%
	就職希望者数	148	17	165	25	14	39	173	31	204
卒業者数	205	21	226	34	16	50	239	37	276	
平成14年度	就職率(%)	95.2%	94.7%	95.2%	93.8%	91.7%	93.2%	94.9%	93.5%	94.7%
	就職者数	139	18	157	30	11	41	169	29	198
	就職希望率(%)	73.4%	73.1%	73.3%	66.7%	80.0%	69.8%	72.1%	75.6%	72.6%
	就職希望者数	146	19	165	32	12	44	178	31	209
卒業者数	199	26	225	48	15	63	247	41	288	

注:外国人留学生除く

●3月末日の県内大学の内定率は86.4%。

本学は7.7ポイント県内の数値を上回った。

		平成15年度			平成14年度		
		男子	女子	計	男子	女子	計
新潟産業大学	両学部計	94.2%	93.5%	94.1%	94.9%	93.5%	94.7%
	経済学部	93.2%	100.0%	93.9%	95.2%	94.7%	95.2%
	人文学部	100.0%	85.7%	94.9%	93.8%	91.7%	93.2%
県内大学		88.2%	83.4%	86.4%	85.7%	81.0%	84.2%
県内短大		71.4%	78.2%	76.5%	64.7%	81.4%	78.0%
県内専修学校		86.0%	89.8%	88.2%	85.2%	88.7%	87.2%

注:新潟県内各学校関係のデータは、新潟労働局職業安定課が集計

平成16年度の学生の活躍

●第17回全日本ライフセービング室内選手権

小出まゆ子さん（人文学部4年）が女子100Mマネキンキャリアー・ウィズフィン予選でこれまでの記録を0.32秒上回る1分13秒42の日本新記録を樹立しました。小出さんは新潟県西蒲原郡月潟村出身。中学・高校では水泳部に所属していないとのこと。ライフセービング部入部後、コーチである池谷薫氏（平成8年度経済学部卒）から脚力の強さを見いだされ、本格的に練習をしてからメキメキと実力がついてきたということです。

なお、この種目では、高木麻妃さん（人文学部3年）が準優勝、男子200M障害物スイムでは、遠藤望君（人文学部2年）が3位入賞と本学学生が大活躍しました。

（平成16年5月1日～2日 於：神奈川県横浜市 横浜国際プール）

●高校野球審判員としてデビュー

村山祥雄君（経済学部1年）が、第110回北信越地区高校野球選手権大会地区予選で審判員を務めました。村山君は、昨年的高校野球夏の大会終了後「今までお世話になった人に恩返ししたい」という気持ちから審判員を志願し、約30試合の経験を積み、今回の公式戦デビューとなりました。10代での公式戦抜擢はあまり例がないとのこと。

オープンキャンパスのご案内 ●●●●

本年度も受験生や保護者を対象として、本学を広く紹介するオープンキャンパスを6月19日（土）の第1回を皮切りに年4回開催します。毎回大好評の模擬授業は、次のとおりです。

分野	内容
経済学	景気メカニズム、教えます
経営学	あなたはどのタイプのマネージャー？ ～経営学入門～
IT体験	IT入門 ～アイドル歌手のライフサイクル～
地域情報	コンピュータを使った3Dデザイン
介護福祉	これからの介護福祉産業 ～障害ってなに？ 車イスに乗ってみよう～
環境安全	エネルギーや材料と環境安全問題
社会学	社会調査でわかる意外な“80へえ”
中国文化	ニイハオ！話してみよう楽しい中国語
コリア文化	気軽に学ぶハングル文字
欧米文化	英国ガーデン物語 ～整形式庭園から風景式庭園へ～

※第2回～第4回では、上記以外に「ロシア文化」「日本文化」の授業を予定。

平成17年度入学試験日程決定！（経済学部経済学科・産業学科及び人文学部地域文化学科）

入試区分	出願期間	試験日	試験会場
A O	(エントリー受付) (第1期)平成16年6月19日～9月24日 (第2期)平成16年11月17日～随時	(最終面接) 平成16年10月23日 随時	
指定校推薦	平成16年 10月27日～11月5日	平成16年 11月14日	柏崎
スポーツ推薦		平成16年 11月13日	柏崎、新潟、高崎、富山、長野
自己推薦			
一般A日程（学費軽減制度対応）	平成17年 1月11日～1月24日	平成17年 1月30日	柏崎、新潟、長岡、直江津、 山形、酒田、郡山、高崎、東京、 富山、長野
本学センターA日程		2次試験なし	
一般B日程	平成17年 2月8日～2月22日	平成17年 2月28日	柏崎、新潟
本学センターB日程		2次試験なし	
一般C日程	平成17年 3月8日～3月22日	平成17年 3月27日	柏崎
本学センターC日程		2次試験なし	

※社会人・帰国子女、留学生入試及び大学院入試については、別途お問合せください。 ●入試課 ☎0077-787-124（フリーコール）
E-mail nyushi@ada.nsu.ac.jp